協議結果（R7第2回 南加賀医療圏）

【個別医療機関の医療機能の見直し】

・紹介受診重点医療機関について「意向あり」とした下記2医療機関については、紹介受診重点医療機関となることを確認した。

小松市民病院、加賀市医療センター

【２０４０年を見据えた新たな地域医療構想・２０２６診療報酬改定】

国の新たな地域医療構想の策定に向けた動きや２０２６年の診療報酬改定について情報共有を行った。

・〔委員〕119番通報から病院に引き継ぐ時間は、全国平均で44分で、小松では33分。南加賀医療圏内における医療現場と消防本部の協力体制、南加賀の消防本部内での連携体制の構築・強化を、今後ともお願いしたい。

協議結果（R7第2回 南加賀医療圏）

【病床機能転換事業費補助金の単価改定】

・病床機能転換事業費補助金の令和８年度以降の単価上昇について、委員から異議は無かった（他医療圏の協議結果を踏まえて、正式な認定を行う）。

※補助金の制度内容について、委員から質問が下記のとおりあり、回答は以下のとおりである。

・〔委員〕本制度は「急性期→回復期」の転換に用いられるものだが、今後「急性期→包括期」の転換にも活用できるか。また、その「包括期」には、回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟に加え、地域包括医療病棟も対象となるのか。

→〔県〕国の新たな地域医療構想の方針、病床機能報告・医療機関機能報告の取扱い、本制度に関する全国状況等も鑑みて、今後の制度内容については、別途改めてお知らせさせていただくこととしたい。

・〔委員〕「急性期→他用途」への転換に関し、国の病床削減に係る支援と重複して、補助を受けることが可能か。

→〔県〕可能である。本制度は病床削減に伴う施設・設備整備に対する支援メニューとなる。

協議結果（R7第2回 南加賀医療圏）

【個別医療機関の医療機能の見直し（公立病院の新設・建替）】

・小松市民病院の建替計画について、小松市民病院から基本計画策定に係る進捗状況の情報共有があった（令和7年度第1回南加賀医療圏地域医療構想調整会議にて、既に地域医療構想に沿ったものである旨、確認済み）。

※計画内容について、委員から質問が下記のとおりあり、回答は以下のとおりである。

・〔委員〕連携が想定される能美市立病院の建替えについて、現時点で未定の部分が多く、今後それらも踏まえて小松市民病院の病床数も決定していくべき。

・〔小松市民病院〕資料上の病床数・病院規模はまだ確定したものではない。南加賀医療圏の手術件数・手術内容の現況、将来的な手術件数の予測等を踏まえて、小松市民病院の病床数を検討したい。

・〔委員〕病院建設に関して、現状投影した病院ではなく、40年後の予測を見据えた病院規模にすべき。